



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2022年2月号 (第309号)



2018年度の様子 (ディスカッション)
「あいち環境塾」オープン講座の参加者を募集
しています (P3)



2021年度水質パトロール隊の優秀グループを表彰
しました (P5)



「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催しました
(P6)



「第55回全国野生生物保護活動発表大会」において
豊田市立滝脇小学校が環境大臣賞を受賞しました (P8)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、
SDGs (持続可能な開発目標) の達成
に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」
Web ページは
こちらから



今月号とバックナンバーを掲載しています。



「あいち自動車ゼロエミッション化加速フォーラム」 を開催します



愛知県では、自動車のゼロエミッション化（走行時にCO₂を排出しない自動車（EV（電気自動車）・PHV（プラグインハイブリッド自動車）・FCV（燃料電池自動車））の普及）を加速し、持続可能なモビリティ社会の構築を目指すため、「あいち自動車ゼロエミッション化加速フォーラム」を開催します。

自動車のゼロエミッション化による本県の地球温暖化対策の取組を進めるため、県民、事業者、市町村等のあらゆる主体の皆さんにそれぞれの立場で考えていただく機会となります。また、会場北東側において、災害時にも活用できる給電機能を体験していただくため、FCV から電気機器に電気を供給するデモンストレーションを実施しますので、是非ご参加ください。

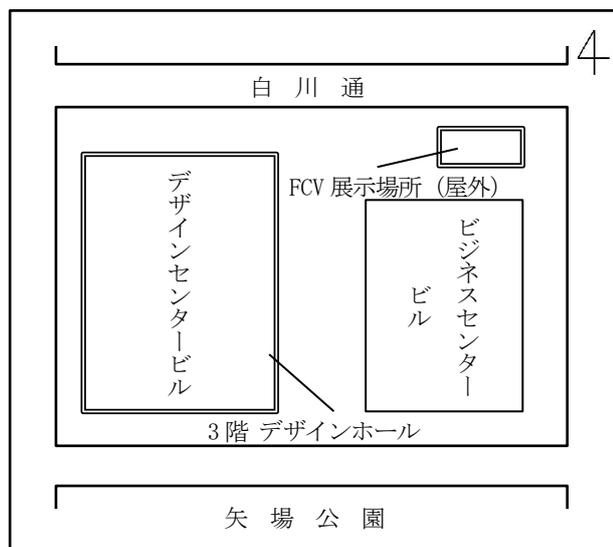
なお、会場での参加のほか、オンライン（Zoom使用）での参加も可能です（新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンラインのみの開催とすることがあります）。

1 日時

3月17日（木）13:30～15:30（開場13:00）

2 場所

ナディアパーク（名古屋市中区栄3-18-1）
デザインセンタービル 3階 デザインホール



ナディアパーク 平面図

3 内容

(1) 基調講演

「エネルギーインフラとしての電動車の導入」

【講師】（株）日本電動化研究所

代表取締役 ^{わだ けんいちろう} 和田 憲一郎 氏

【プロフィール】

1989年三菱自動車工業（株）入社。「^{アイ・ミーブ}i-MiEV」の開発責任者等を歴任し、2013年退社。

その後、（株）日本電動化研究所を設立し、現職。



新聞・メディアに数多くコラム ^{サンケイビズ} 和田 憲一郎 さんを寄稿しており、SankeiBiz「モビリティ新時代」、メルクマール「和田憲一郎のモビリティ千思万考」などを連載中。

(2) パネルディスカッション

パネリスト：基調講演講師、自動車メーカー、
県内市町村

モデレーター：名古屋大学未来社会創造機構
教授 ^{もりかわ たかゆき} 森川 高行 氏

4 申込方法

「7 申込先・問合せ先」のWebページから参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、Eメールで3月9日（水）までにお申し込みください。

5 定員 【会場】250名 【オンライン】500名
どちらも申込先着順

6 参加費

無料（オンライン参加の通信費は自己負担）

7 申込先・問合せ先

あいち自動車ゼロエミッション化加速フォーラム
事務局（パシフィックコンサルタンツ（株）中部支社内）

Eメール：xevforum2022@tk.pacific.co.jp

Webページ：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/xevforum2022.html>

電話：052-589-3126



地球温暖化対策課 自動車環境グループ
電話 052-954-6217（ダイヤルイン）

「あいち環境塾」オープン講座の参加者を募集しています



愛知県では、企業・団体・行政など各分野で活躍する持続可能な社会づくりのリーダーを育成するため「あいち環境塾」を開講しています。

この度、当塾の模擬体験ができるオープン講座を開催しますので、お気軽にご参加ください。

- 1 日時 3月5日(土) 13:00~16:30
- 2 場所 名古屋商工会議所 5階会議室B・C
- 3 対象 県内在住の方又は県内の企業、NPO、大学等に所属の方
- 4 定員 会場(40名)、オンライン(定員なし、Zoom使用)
- 5 参加費 無料(通信費は自己負担)
- 6 主なプログラム

- (1) 講演会「After コロナで企業はどうSDGsと向き合うか



戸成 司朗さん

～未来から選ばれる企業になるために～

講師：(一財)中部SDGs推進センター 代表理事
戸成 司朗 氏(当塾講師)

- (2) 卒塾生による成果発表(2021年度卒塾生)
- (3) 会場参加者によるディスカッション

7 申込方法(締切:2月25日(金))

- (1) Web ページ

以下のURLからアクセスし、お申込みください。

(https://www.nisri.jp/chc/kankyojuku_ex-form.html)



- (2) Eメール

件名を【あいち環境塾オープン講座参加申し込み】

とし、①氏名 ②住所(勤務先の場合は企業名も記入) ③電話番号 ④参加方法の選択⑤Eメールアドレスを明記の上、お申込みください。

8 申込先・問合せ先 (公財)名古屋産業科学研究所

Eメール:kankyojuku@nisri.jp

電話:052-223-6639

〔資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)〕

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の 企画提案を募集しています



愛知県では、「あいち森と緑づくり税」を活用して、NPO やボランティア団体など多様な主体が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習の取組を促進するため、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

現在、2022年度に実施する企画提案を募集しますので、是非ご応募ください。

1 対象とする団体

NPO、ボランティア団体、農協、漁協、森林組合、自治会、私立学校、市町村等(愛知県内に活動の拠点を置く、5人以上の団体)

2 募集期限

3月1日(火)(必着)

3 提出書類及び部数

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業実施計画書」3部。様式は、Web ページからダウンロードできます。

4 提出先

主な事業実施場所を所管する東三河総局(新城設楽振興事務所を含む)又は県民事務所の環境保全課(名古屋市内は県庁の環境活動推進課)



活動の様子(アサガオの苗の植え付け)

詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000023749.html>)



〔環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6240 (ダイヤルイン)〕

解体等工事におけるアスベスト事前調査結果の 報告が必要になります



アスベスト（石綿）の大気中への飛散防止をより一層徹底するため、大気汚染防止法が改正され、2022年4月から、一定規模以上の解体等工事を実施する場合は石綿含有の有無に関わらず、事前調査結果の知事等への報告が必要になります。

この報告制度の概要は以下のとおりです。

1 報告対象者

工事元請業者又は自主施工者

2 報告対象工事

- ・床面積 80m² 以上の建築物に関する解体作業
- ・請負代金 100 万円以上の建築物に関する改修作業
- ・請負代金 100 万円以上の特定の工作物に関する解体、改修作業

3 報告事項

- ・工事の発注者、元請業者又は自主施工者の氏名
- ・工事の場所、名称及び実施期間
- ・建築材料ごとの石綿含有の有無 等

4 報告方法

原則、以下の石綿事前調査結果報告システム（国により整備）から電子申請

(<https://www.ishiwata-houkoku.mhlw.go.jp/>)



詳細は環境省 Web ページをご覧ください。

(https://www.env.go.jp/air/post_48.html)



当システムの運用開始（3月中旬）に先立ち、2月18日（金）まで、操作の確認等のためにユーザーテストが実施されていますので、システム利用予定の方は、上記 URL から是非ご参加ください。

〔水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）〕

「化学物質適正管理セミナー」（事業者向け）を オンラインで配信します



化学物質による環境や健康への影響を減らすため、愛知県は名古屋市と共催で、化学物質を取扱う事業者の皆さんを対象としたセミナーを開催しています。

今年度はオンラインで配信し、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）及び条例の改正について説明します。また、化学物質の適正管理のためのリスク管理と情報の活用についての講演も行います。

1 公開期間 2月15日（火）10:00
～3月17日（木）17:00

2 内容

(1)「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）及び条例の改正について」

説明：愛知県環境局環境政策部環境活動推進課

(2)「化学物質管理におけるリスクコミュニケーションについて」

講師：(独)製品評価技術基盤機構

化学物質管理センター リスク管理課

うえのやま てつへい
上野山 哲平 氏

3 参加費 無料（通信費は自己負担）

4 申込期限 3月17日（木）正午まで

5 申込方法

あいち電子申請届出システムからお申込みください。お申込みいただいた方には、申込完了時にメールにて視聴方法を案内します。

(https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=41975)



〔環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン）〕

※「環境調査センター研究発表会」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止します。

「環境調査センター研究発表会」の参加者を募集します



愛知県環境調査センターは、県の環境行政を科学的・技術的に支える調査研究機関です。大気、水質や騒音等の環境基準の適合状況を把握するための調査を始め、事業場からのばい煙や排水の測定、さらに廃棄物、有害な化学物質の分析などを行っています。また、県の良好な環境を確保するための調査・研究に取り組んでおり、その研究成果を広く発信するため、毎年度、研究発表会を開催しています。

今年度は昨年度と同様、オンラインで開催します。是非ご参加ください。

- 1 開催日時 3月8日(火) 13:30~15:40
- 2 開催方法
オンライン (Cisco Webex Meetings 使用)
- 3 定員 100名 (申込先着順)
- 4 参加費
無料 (通信費は自己負担)

5 申込方法

「7 申込先・問合せ先」の Web ページから参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、Eメールでお申し込みください。後日、参加に必要な URL 等を Eメールでお知らせします。

6 申込期限 2月25日(金)まで

7 申込先・問合せ先

愛知県環境調査センター 企画情報部

Eメール: kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

電話: 052-908-5112

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/r3happyoukai.html>)



〔 環境調査センター 企画情報部
電話 052-908-5112 (ダイヤルイン) 〕

2021年度水質パトロール隊の 優秀グループを表彰しました



愛知県では、小中学生を中心としたグループが身近な川等の汚れ具合や水辺の生きものを調査することで、普段意識していない生活排水や身の回りの水環境について考えていただく水質パトロール隊事業を行っています。

2021年度は33グループ(1,355名)の水質パトロール隊が身近な川等で水質検査キットを用いた調査等を行い、その結果をレポートとして提出していただきました。

このうち特に優れた活動を行った3グループを優秀グループに決定し、昨年12月23日に愛知県議会議事堂で表彰式を行いました。



最優秀賞 岡崎市立矢作北中学校科学部の皆さん
(写真中央2名)

優秀グループのレポートはどれも調査方法やまとめ方が工夫されており、子どもたちの意欲あふれる素晴らしい内容となっています。

水質パトロール隊参加者の活動レポートは Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2021mizupato-hyosho.html>)



〔 水大気環境課生活環境地盤対策室三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン) 〕

2021年度水質パトロール隊優秀グループ

最優秀賞 岡崎市立^{やはぎきた}矢作北中学校科学部 (学校)

優秀賞 きよすキッズ水質パトロール隊 (家族)

優秀賞 チーム^{なまざ}NAMAZU (家族)

「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催しました



愛知県では、昨年12月22日に愛知芸術文化センター（名古屋市東区）で「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催し、会場・オンライン合わせて約220名の方にご参加いただきました。

1 認定証授与

エコカーの導入など、自動車環境の改善に積極的に取り組む「自動車エコ事業所」の方々や、CO₂の排出抑制に意欲的に取り組む旨を



認定証授与式

「あいちCO₂削減マニフェスト2030」として宣言していただいた事業者の方々に、大村知事から認定証が授与されました。

2 基調講演

（公財）地球環境産業技術研究機構理事長・研究所長の山地憲治さんから、「カーボンニュートラルを実現するイノベーション」と題して、技術的なイノベー



山地 憲治 さん

ションだけでなく、デジタル化を進め、超スマート社会、サーキュラーエコノミーを実現するなど、社会のイノベーションが必要であることなどをご紹介します。

3 事例発表

清水建設（株）常務執行役員エンジニアリング事業本部長 LCV 事業本部副本部長の関口猛さんから、「シミズの再生可能エネルギーへの取り組み」と題して、洋上風力など再生可能エネルギーへの取組などについて、



関口 猛 さん

川崎重工業（株）常務執行役員水素戦略本部長の原田英一さんから、「国際水素サプライチェーン構築に向けた取組み」と題して、水素を製造・



原田 英一 さん

輸送・貯蔵・利用するサプライチェーンの構築に向けた取組について、それぞれ発表していただきました。

4 トークセッション

気象予報士で名古屋文化短期大学講師の早川敦子さんと講演・事例発表の講師3名により、「カーボンニュートラルの実現に向けたパラダイムシフト」をテーマにトークセッションを行いました。この中で「カーボンニュートラルの実現という良いビジョンができたので、そこに向かってリアリズムを持ってチャレンジしてほしい」といった呼びかけがありました。



トークセッションの様子

今後も県は、県民・事業者の皆さんに、実際にCO₂削減行動・省エネ行動に取り組んでいただくため、「あいちCOOL CHOICE」県民運動*などの各種取組を推進していきます。

※ 県民の皆様一人ひとりに、日常生活のあらゆる場面で、省エネ家電への買い換え、クール&ウォームビズの推進など、地球温暖化防止に向けた「賢い選択」をしていただく県民運動。

詳細はWebページをご覧ください。
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/aichicoolchoice.html>)



がしこく選んで、地球よろこぶ



地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

○ 大気中の温室効果ガスの状況について

気象庁では、世界気象機関 (WMO) の要請に基づいて、温室効果ガス世界資料センター (WDCGG) を運営しています。WDCGG は、世界中から報告される温室効果ガス観測データを収集・解析し、提供している世界で唯一の国際的な機関です。その観測データや解析結果は、世界の温室効果ガスの研究者に広く利用され、国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) の締約国会議 (COP) で毎年配布されるなど、温室効果ガスの現状把握や研究に活用されています。

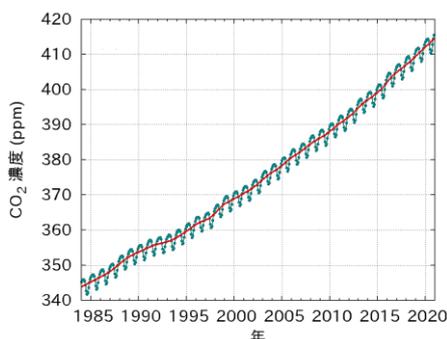
WDCGG による 2020 年 12 月までの温室効果ガス世界平均濃度に関する解析結果に基づき、WMO が公表した温室効果ガス年報によると、大気中の主要な温室効果ガス (CO₂、メタン、一酸化二窒素) の 2020 年の世界平均濃度は、いずれも解析開始以来の最高値を更新しています。

地球温暖化防止のためには、現在よりも、温室効果ガス排出削減の取組を一層強化し、長期的かつ継続的に実施していく必要があります。

主要温室効果ガスの世界平均濃度 (2020 年) と増加量 (気象庁 Web ページを基に作表)

	CO ₂	メタン	一酸化二窒素
2020年の世界平均濃度	413.2±0.2 ppm	1889±2 ppb	333.2±0.1 ppb
2019年からの増加量	2.5 ppm	11 ppb	1.2 ppb
工業化以前の濃度	約278 ppm	約722 ppb	約270 ppb

※ ppm は大気中の分子 100 万個中、ppb は 10 億個中にある対象物質の個数を表す単位です。工業化以前とは 1750 年頃を基準としています。



CO₂ の世界平均濃度の経年変化 (気象庁 Web ページを基に作図)

※ 波線は月平均値を結んだ線で、季節変動を含む。波線内の線は季節変動を除いたもの。

詳細は気象庁 Web ページをご覧ください。

(https://www.jma.go.jp/jma/press/2110/25b/GHG_Bulletin_17.html)



○ 「省エネラベル」について【緩和策】

省エネは「省エネルギー」の略で、高効率機器の導入や生活での無駄を省くことにより、エネルギーの消費量を削減し、効率よく使うことをいいます。エネルギーの多くは、石油や石炭などの化石燃料を燃焼することで得られていることから、省エネに取り組むことにより、地球温暖化の原因となる CO₂ の大気中への排出を削減することができます。

省エネ型の製品選びを手助けするラベル表示に「省エネラベル」があります。「省エネラベル」は、エネルギー消費製品の省エネ性能を示すもので、国が定める目標値 (省エネ基準) をどの程度達成しているか、その割合を示すものです。省エネラベルには、省エネ性マークや省エネ基準達成率のほか、エネルギー消費効率、省エネ基準の達成期限となる目標年度の情報が含まれています。省エネ性マークには、省エネ基準を達成している場合 (100%以上) はグリーン、まだ達成していない場合はオレンジ (100%未満) の 2 種類があり、同じグリーンでも記載された省エネ基準達成率が大きいほど省エネ性能が優れ、光熱費を節約し、CO₂ 排出を削減できることを示しています。



省エネラベル (2021 年省エネラベルガイドブックより引用)

省エネラベルの対象となっている製品は、エアコン、冷蔵庫、テレビ、照明器具など 22 品目です。

製品を選ぶ際には、地球温暖化対策を始め、環境に配慮されたものを選択しましょう。

詳細は経済産業省資源エネルギー庁の 2021 年省エネラベルガイドブックをご覧ください。

(https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/media/)



環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

「第55回全国野生生物保護活動発表大会」において 豊田市立滝脇小学校が環境大臣賞を受賞しました



環境省及び(公財)日本鳥類保護連盟は、全国の学校の児童・生徒が行っている野生生物保護活動に関する情報の共有、活動の底上げ及び次世代の自然保護活動を担う人材を育成するため、「全国野生生物保護活動発表大会」※を毎年開催しています。

※2019年度大会までは、「全国野生生物保護実績発表大会」

第55回となる2021年度大会では、全国の小学校・中学校・高等学校(40校)から応募のあった活動紹介の動画及び写真をもとに審査が行われ、豊田市立滝脇小学校が最高賞である環境大臣賞を受賞しました。

昨年11月24日に環境省で表彰式が行われ、受賞校の活動発表、意見交換会が実施されました。

また、12月24日に滝脇小学校の6年生児童5名と学校長及び担任教員が知事へ表敬訪問し、日頃の活動等について報告を行いました。



表敬訪問の様子
(環境大臣賞受賞及び日頃の活動報告)

【滝脇小学校の活動の概要】

1 活動のタイトル

「私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ」

2 活動の内容

子どもたちは「知る活動」「守る活動」「広げる活動」の3本柱を立てて、「多様な野生生物が集う滝脇の森づくり」を目指し、愛鳥活動をしています。例えば、「知る活動」として野鳥の姿や鳴き声を答える愛鳥検定や愛鳥クイズ大会、学校周辺での探鳥会など、子どもたちは発達段階に合わせた活動を積み重ねています。



愛鳥クイズ大会の様子(知る活動)

なお、同校は昨年8月5日に刈谷市産業振興センターで開催された愛知県主催の「第51回愛知県野生生物保護実績発表大会～輝く未来のいきものサポーター～」でも、最高賞である愛知県知事賞を受賞しています。

〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

※ 掲載の研修会やイベントは、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2022年2月7日発行(第309号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

昨年末、食べ物が原因と思われる病気により、体調を崩してしまいました。新型コロナウイルス感染症対策で、手洗い、うがい、消毒等様々な感染予防を行ってききましたが、直接口にする食べ物自体への注意が足りていなかったようです。

また、例年冬期にはインフルエンザの罹患も増えます。新型コロナウイルスも含め、怖がりすぎることも良くないですが、緊張感をもって日々生活していきましょう。(企画・編集チーム)

※「環境かわら版」は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

